



おもい
思

富岡 勝則

皆さんこんにちは。

福島第一原発の影響がまだ残っているなか、夏の電力不足に備えているいろいろな場所で節電対策が取られています。駅の構内や電車の中、デパートやスーパーでは、蛍光灯を間引いて節電に協力しています。初めは暗く感じて「あれっ」と思うこともありました。最近では慣れて不便を感じないようになりました。市役所でも日ごろから節電に努めていますが、今年は「夏季の節電対策基本方針」を定め、ゴールデンウィーク明けから取り組んでいます。内容は、庁舎内や施設の蛍光灯を3割ほど間引いたり、冷房の温度を28度に徹底するというものです。またクールビズも、5月から10月までの6か月間と、いつもより2か月延長することにしました。市役所に来た時には少し暗くてご不便をおかけすることもあるかと思いますが、この夏の電力不足を乗り切るために

ぜひご協力をお願いします。

さて、5月12日(休)、原発による避難者の受け入れを行っている会津若松市に、リサイクル自転車50台と、車いす10台を寄贈してきました。会津若松市には、福島第一原発のある大熊町が役場ごと移転していて、約2800人の方が、東山温泉など市内で避難生活を送っています。朝霞市は福島県に猪苗代湖自然の家があったことが縁で、会津若松市とは以前から交流がありました。そこで何かお手伝いできることはないかと思い、日常の足となる自転車と車いすを届けることにしました。自転車は、引き取り手のない放置自転車を、車いすは市と社会福祉協議会で用意し、埼玉県自転車軽自動車商協同組合の皆さんに整備していただきました。また、会津若松市までの搬送は、埼玉県トラック協会朝霞支部が引き受けてくださるなど、皆さんの思いが一つになって実現することができました。ご協力いただいた皆さんには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

菅家会津若松市長のお話では、会津若松市の放射線量は問題ない値なのに、観光客は風評被害で10分の1に減少するなど大変な状況になっているということでした。皆さんも支援の意味も含め、ぜひ会津若松へ足を運んでいただき、すばらしい歴史と伝統に直接ふれてみてはいかがでしょうか。ではまた。

朝霞市は男女平等を進めています

**—市民意識調査結果から見えてきたこと③—
「配偶者から暴力を受けた経験」**

「配偶者から暴力を受けた経験調査」結果では、配偶者から身体的な暴力を受けたことのある方が1割を超えていました。

* ()は平成20年度調べ

配偶者から暴力を受けた経験がありますか?	何度もあった	1・2度あった
①命の危険を感じるくらいの暴行	0.7% (1.5%)	1.6% (5.3%)
②医師の治療が必要となる程度の暴行	0.5% (0.6%)	1.7% (4.2%)
③大声でどなられたりすぐに暴力を振るわれる	3.6% (6.8%)	6.8% (9.1%)

DVは性別で役割を固定した考え方を背景に、優位な立場の人が弱い立場の人を思い通りに支配するために振るわれる暴力で、家庭の中で起こる問題は外に出にくい傾向にあります。

前回の調査(平成20年度)と比較すると、すべての項目で配偶者からの暴力を受けた経験があるとの回答は減少傾向にありますが、DVは重大な人権侵害であり、許されるものではない事を一人ひとりが、より自覚し理解する必要があります。

*このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。
☎/人権庶務課 ☎2255 ☎463-2697

**男女共同参画週間
パネル展を開催します!!**

—6月23日(木)~29日(水)は
男女共同参画週間です!—

☎/人権庶務課
☎2255 ☎463-2697

日時/6月23日(木)~29日(水)
午前8時30分~午後5時15分

会場/市役所1階市民ホール

内容/男女が互いに人権を尊重し、職場や学校、地域や家庭で、性別にかかわらず、個性と能力を発揮し合う「男女共同参画」。

男女共同参画社会実現のためには、行政だけでなく、皆さんひとりひとりの日ごろの取り組みが必要です。私たちの周りのパートナーシップについて、この機会に考えてみませんか?

ひとの推移

人口 13万1,292人 (+528人) 世帯数 5万9,654世帯
男 6万6,939人 (+152人) (+510世帯)
女 6万4,353人 (+376人) 平成23年5月1日現在()内は前月比